DAISYのこれから

ー「盲人用録音図書」から次の段階へー

自己紹介

- 国立図書館に勤務
- 障害者サービス担当
  →電子図書館
- 現在は個人的にお勉強
- 大学時代はメキシコの先住民言語・文化
- 南京町龍獅団で活動中

最近、気になってませんか？

- 普通の音楽CDとどう違うの？
- 電子書籍と一緒になるとかどうとか…。
- ePubとDAISYって何が違うの？
- なんか「あそこらへん」で動きがあるらしい。
- 使うのは視覚障害者だけじゃないらしい。
- 教科書とかにも関係してるらしい。
- DAISYって結局なんなの？

今日の流れ

1. DAISYの話
   - 沿革と仕組み
   - 次世代DAISYとEPUB
2. DAISYの周りの話
   - 著作権法改正
   - ディスレクシア、教科書バリアフリー法
   - 国際的な活動
3. まとめ

One Source, Multi Use

1．DAISYの話

DAISYって何？

- DAISY＝Digital Accessible Information SYstem
- 国際組織DAISY Consortiumが管理
- 現行（Ver.3.0）はアメリカの公的な標準でもある（ANSI-NISO Z39.86）
- 現行では大きく分けて3種類
  - (1)音声のみ (2)テキストのみ(3)マルチメディア

沿革

1986　IFLA東京大会

1995　IFLAトロント会議

1996　DAISYコンソーシアム設立

1998　DAISY2.0

2001　DAISY2.02

2003　DAISY3.0→現行は2005

2009-　DAISY4改訂

デモ

- DAISYコンソーシアムでダウンロードしたサンプルファイルをAMISで再生

“Are You Ready?” (DAISY 3 Full Text Full Audio)
@http://www.daisy.org/samples#t11

C:¥Documents and Settings¥yaskohi¥My Documents¥ダウンロード¥are-you-ready-z3986¥Are_you_ready_z3986

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

ファイルとフォルダのタスク

- 新しいフォルダを作成する
- このフォルダを Web に公開する
- このフォルダを共有する

その他

- are-you-ready-z3986
- マイ ドキュメント
- 共有ドキュメント
- マイ コンピュータ
- マイ ネットワーク

詳細

Are_you_ready_z3986
ファイル フォルダ
更新日時: 2011年2月12日、22:38

image1.jpg image2.jpg image3.jpg image4.jpg image5.jpg image11.jpg image12.jpg image13.jpg image14.jpg speechgen00...

speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00...

speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00...

speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00...

speechgen00... speechgen00... speechgen00... tpbnarrator_r... speechgen.ncx speechgen.opf tpbnarrator.res speechgen00... speechgen00... speechgen00...

speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00...

speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00...

speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00... speechgen00...

speechgen00... AreYouRead... dtbookbasic....

基本は、シンプル。

- 入っているものは実はこれだけ。

  xxx.opf：パッケージファイル

  xxx.mp3：本文を読み上げた音声ファイル

  xxx.xml：マークアップされた本文情報

  xxx.ncx：目次

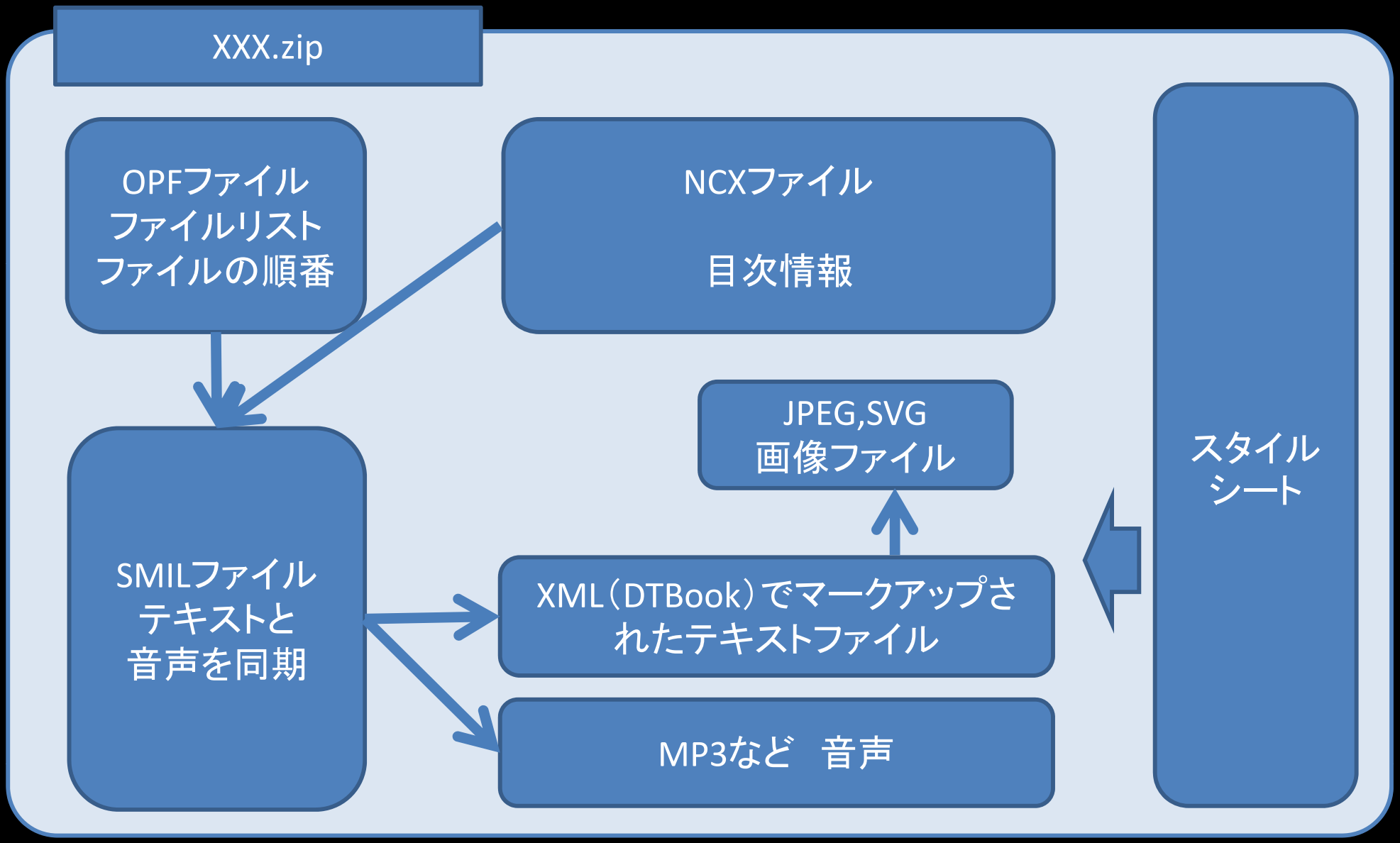
  xxx.smil：スマイルファイル

  xxx.css：スタイルシート。見た目を調整。

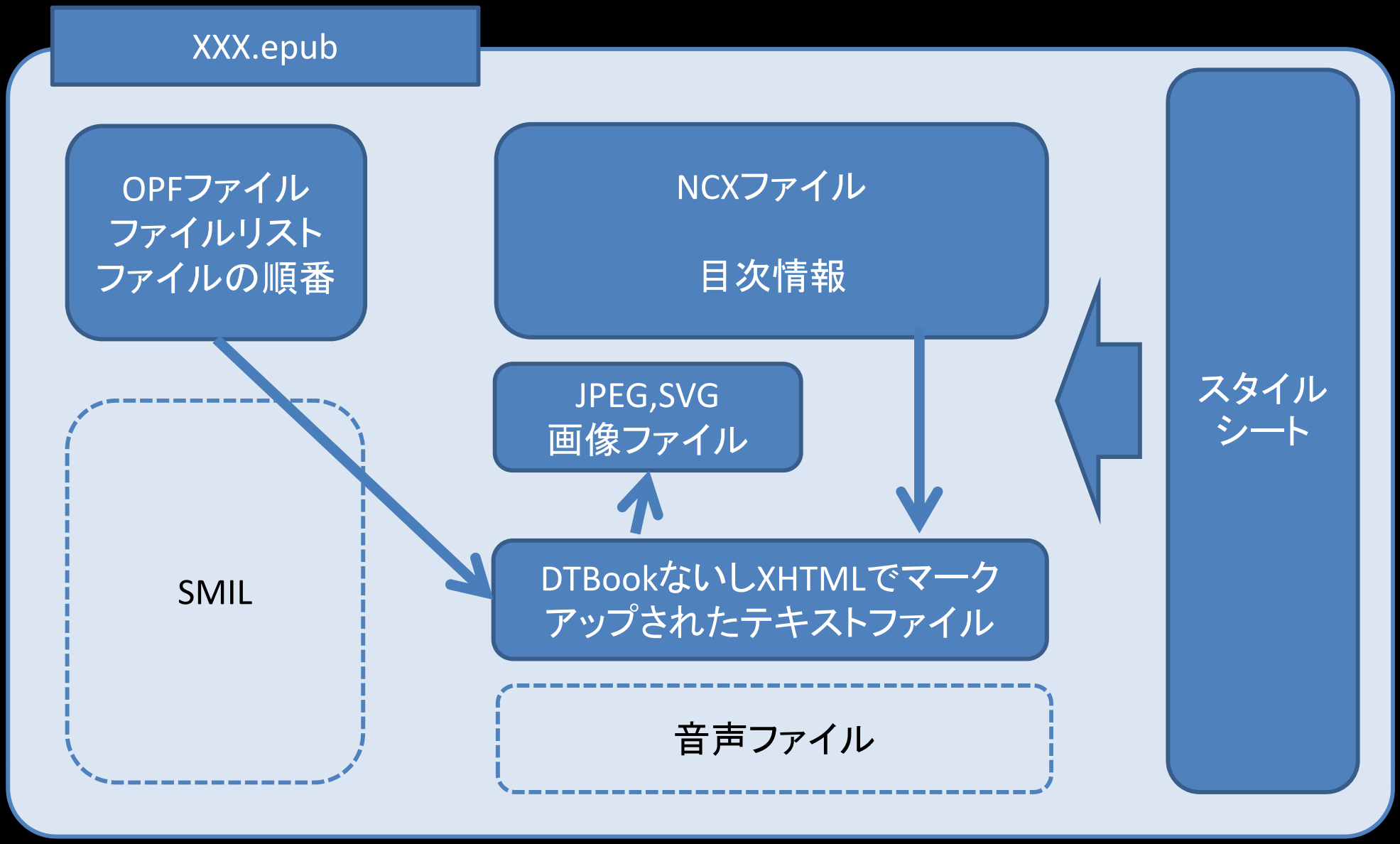
  xxx.jpg：本文中の画像

*青字はW3Cの技術

DAISY3.0の仕組み



EPUB2.0


XXX.epub
OPFファイル
ファイルリスト
ファイルの順番
NCXファイル
目次情報
JPEG,SVG
画像ファイル
スタイル
シート
SMIL
DTBookないしXHTMLでマーク
アップされたテキストファイル
音声ファイル

なんでそっくり？

DAISYとEPUBの関係

- 両組織で人的資源を共有
  - George Kerscher氏
  - Markus Gylling氏
- DAISYコンソーシアムは
  IDPFのメンバー
- すでにEPUBはDAISYの技術を利用
  DTBook（本文のマークアップ） NCX(目次）
- 2011年2月現在、両者とも改訂中。

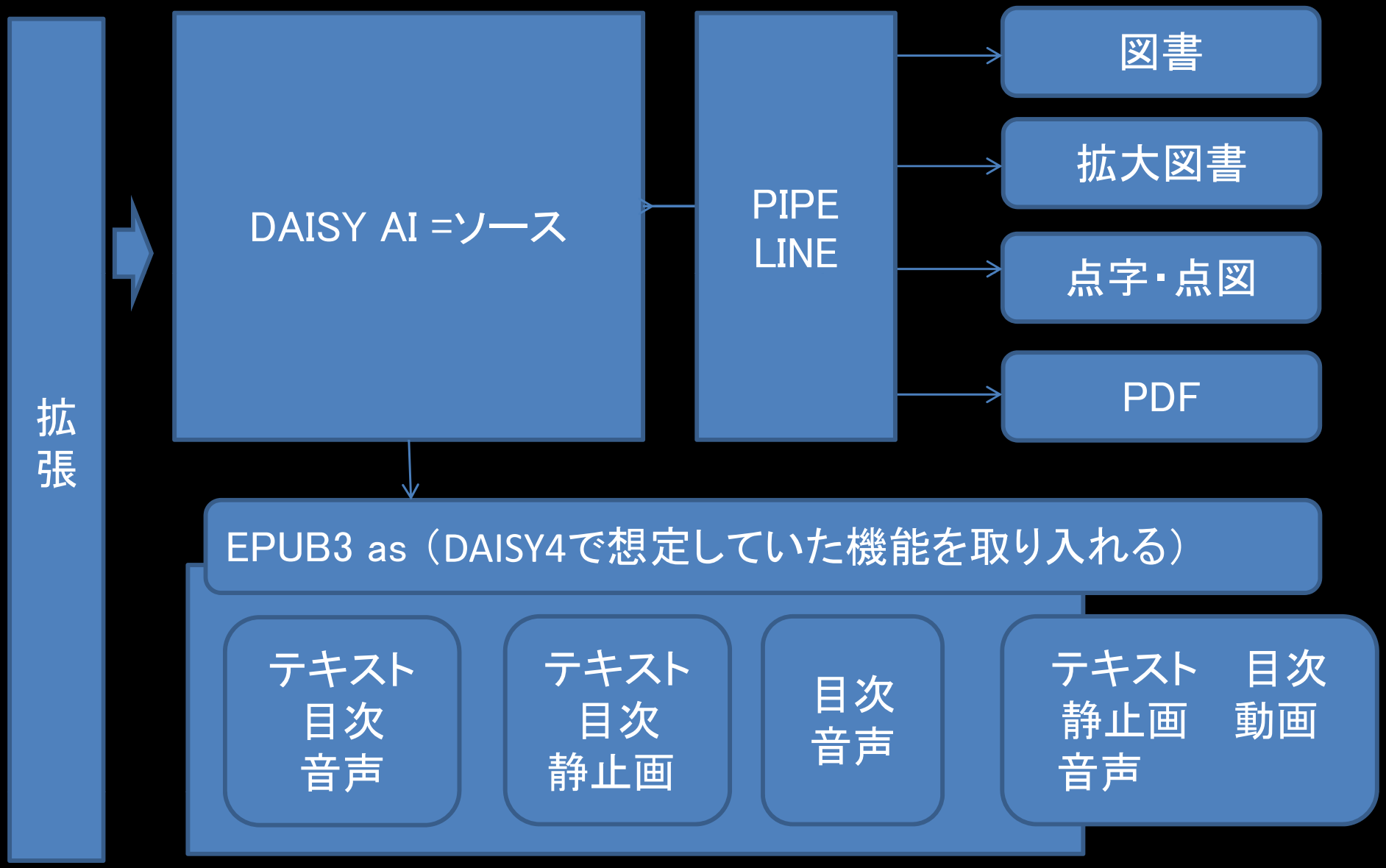
ジョージの写真があったのです

ギリングさんの写真があったのです

で、どうなる？

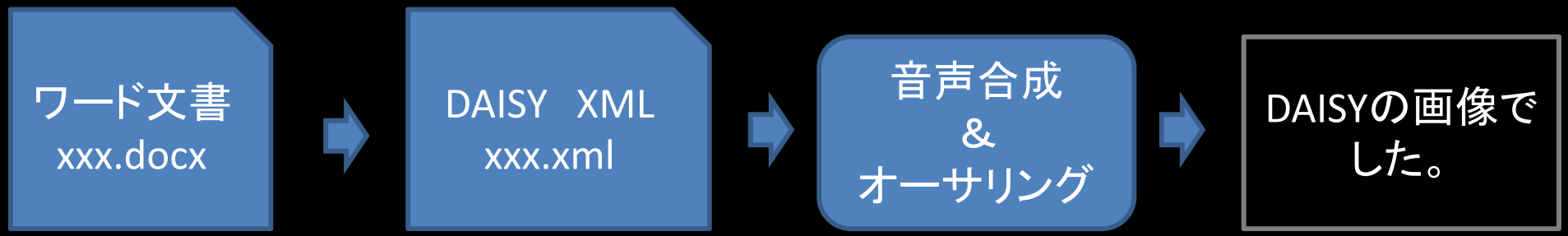
- 6月を目標に改訂中。
- 新たな機能（予定）
  - プロファイル・モジュールという考え方
  - XML　RDFaで語彙の拡張が可能
  - 動画との同期ができる→手話
  - 配布フォーマットと製作フォーマットを別々に開発
    EPUB3が配布フォーマットになる見込み。

図にしてみると…。


拡張
DAISY AI =ソース
PIPE LINE
図書
拡大図書
点字・点図
PDF
EPUB3 as（DAISY4で想定していた機能を取り入れる）
テキスト
目次
音声
テキスト
目次
静止画
目次
音声
テキスト　目次
静止画　動画
音声

DAISY Translator

- マイクロソフトとDAISYコンソーシアムが共同開発。日本語版も2010年4月リリース。
- 無償。
- Word の文書からDAISY 3規格のマルチメディアDAISY、DAISY 3規格のXML自動生成。



DAISYの戦略

a. 利用者の意見を反映
   - 大規模な実証実験、オープンな開発
b. 標準化戦略：あるものを使う
   - 公開性、互換性、開発・メンテナンスコスト減
c. 普及戦略
   - 途上国も視野に入れた普及戦略
d. デザイン戦略
   - 出版自体をアクセシブルにする。

e. 幅広いDAISYの開発・応用

- ツールの開発：Pipeline, obi, tobi, AMIS…
- 関連技術の開発：MathML, DAISY Online Delivery Protocol
- LD、知的障害、重度肢体障害、少数言語など。

2. DAISYの周りの話

キーワード

著作権法改正（２００９年）
ディスレクシア
マルチメディアDAISY教科書
教科書バリアフリー法
国際的な動き

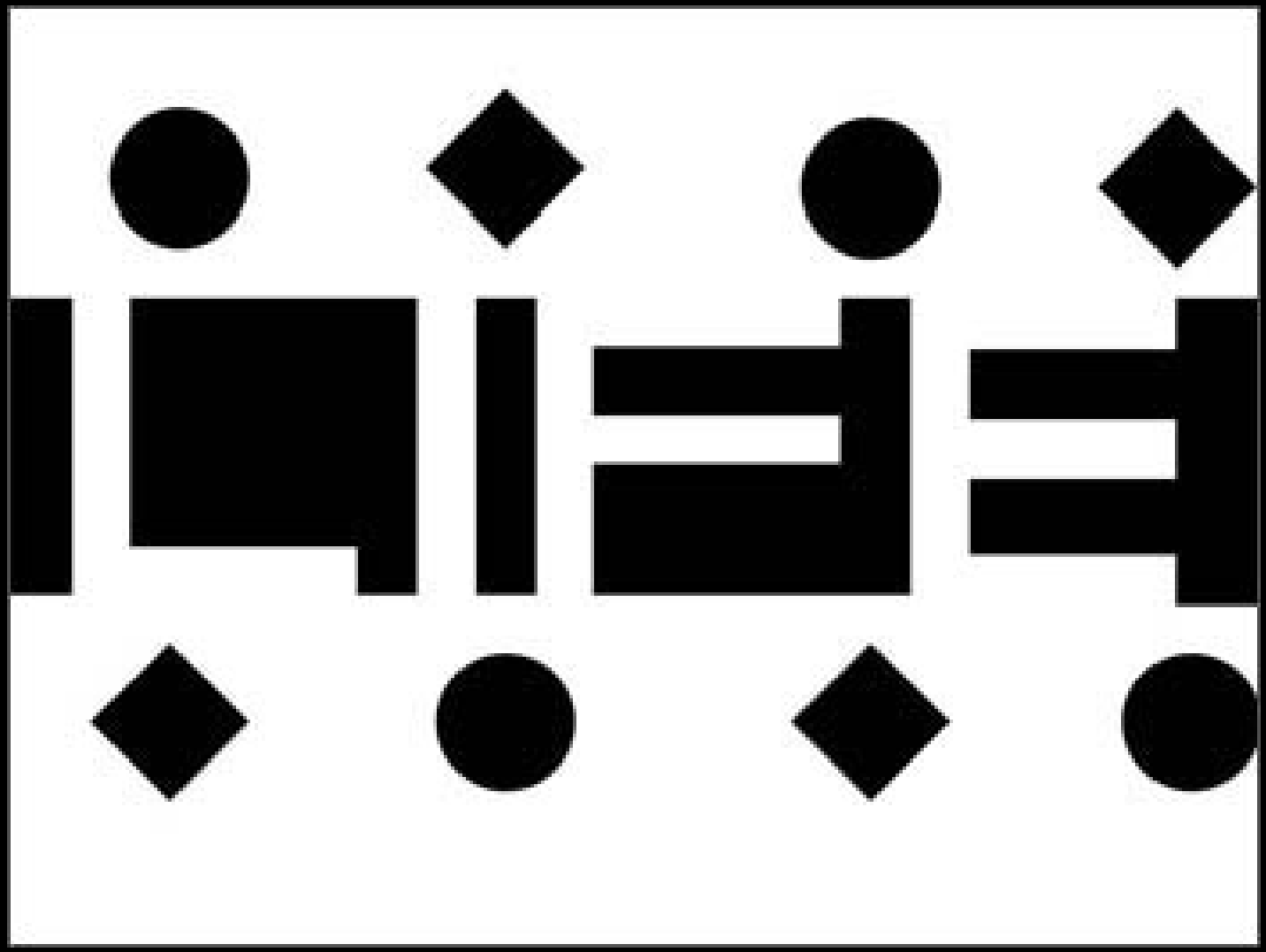
製作:著作権法の改正（2009）

- 製作者の拡大
  - 視覚障害者情報提供施設など→公共図、国会図、大学&学校図など
- 利用者の拡大
  - 「もっぱら視/聴覚障害者」→「視/聴覚障害者その他視/聴覚による表現の認識に困難のある者」
- 複製の方式（視覚障害者等）
  - 「録音」→「その他障害者が必要とする方式」
  - 貸出し・公衆送信→譲渡が可能に。
- その他

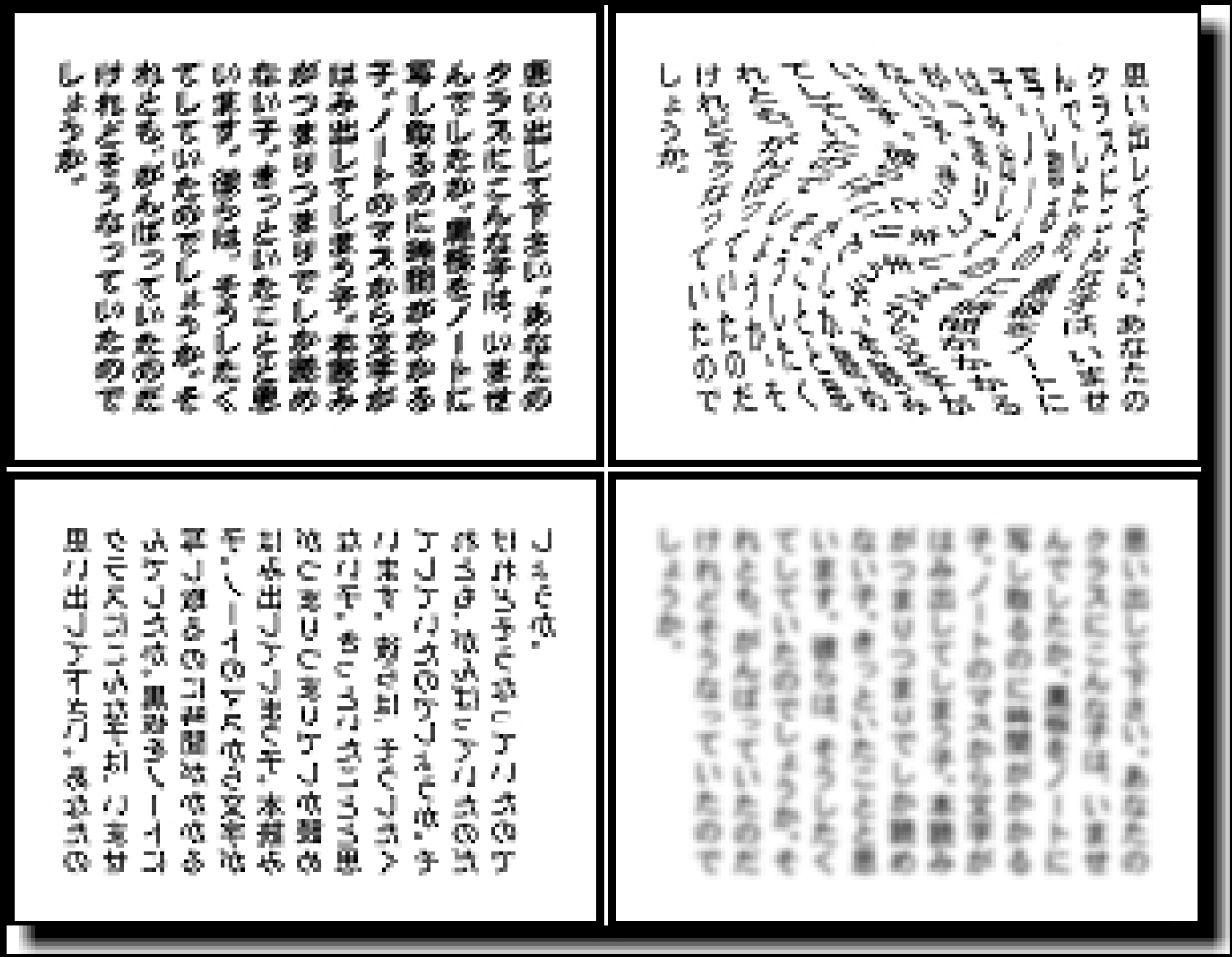
利用者の拡大:ディスレクシア

- ディスレクシアとは？
  - 神経学的基盤の発達障害のため、読み書きに困難のある学習障害･･･など。
  - 日本では網羅的な調査はないが、おおむね数%～10%とされている模様。（言語･文字にもよる）
  - 原因について未だ決定的な学説はない。
  - 二次的な影響についても問題に。
  - 症状は様々

例えば…神山忠さんの場合



http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/daisy/event20081101/kouyama.html



http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/library/071030_jla93-12/kouyama.html

なぜ、DAISY？

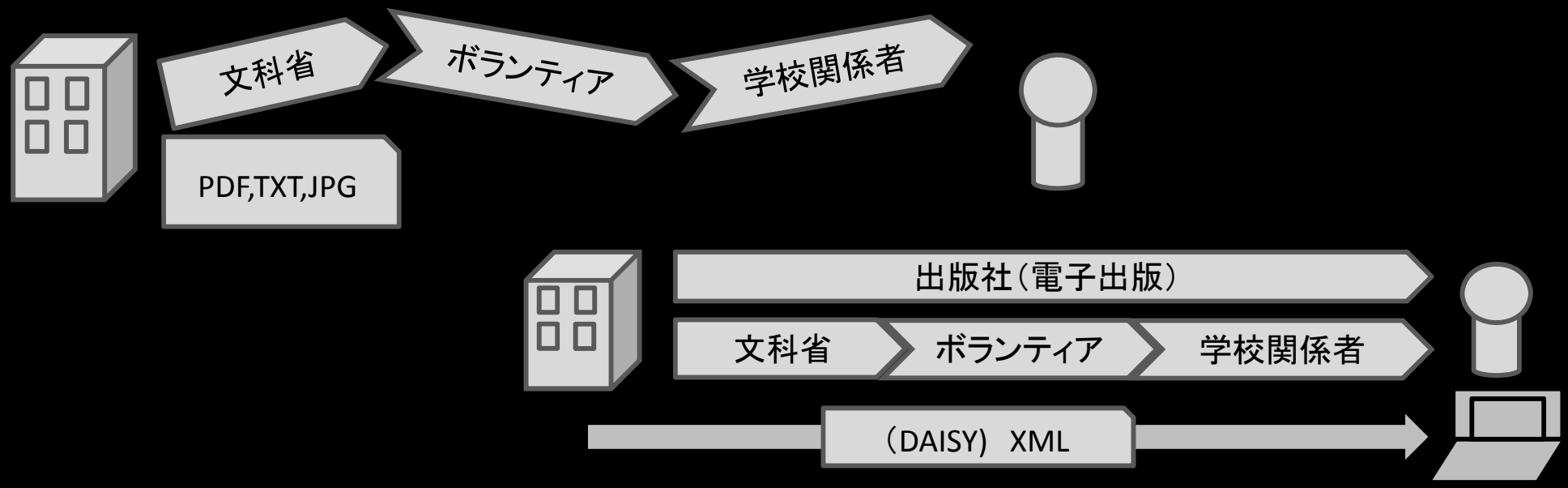
- 耳だけ、目だけ、でなくて両方
- 読む労力から解放
  - 音読って、頭に入らなくないですか？
- ハイライト
  - カラオケと一緒。
  - 色が変わる。
- その他

教科書バリアフリー法（2009年）

- 決まったこと
  - 点字・拡大図書が「教科書用特定図書」に
  - 国に対して必要な措置を義務付け
  - 出版社がデジタルデータを提供
  - 拡大図書の標準規格策定と発行の努力義務
  - 義務教育における拡大・展示教科書の無償提供

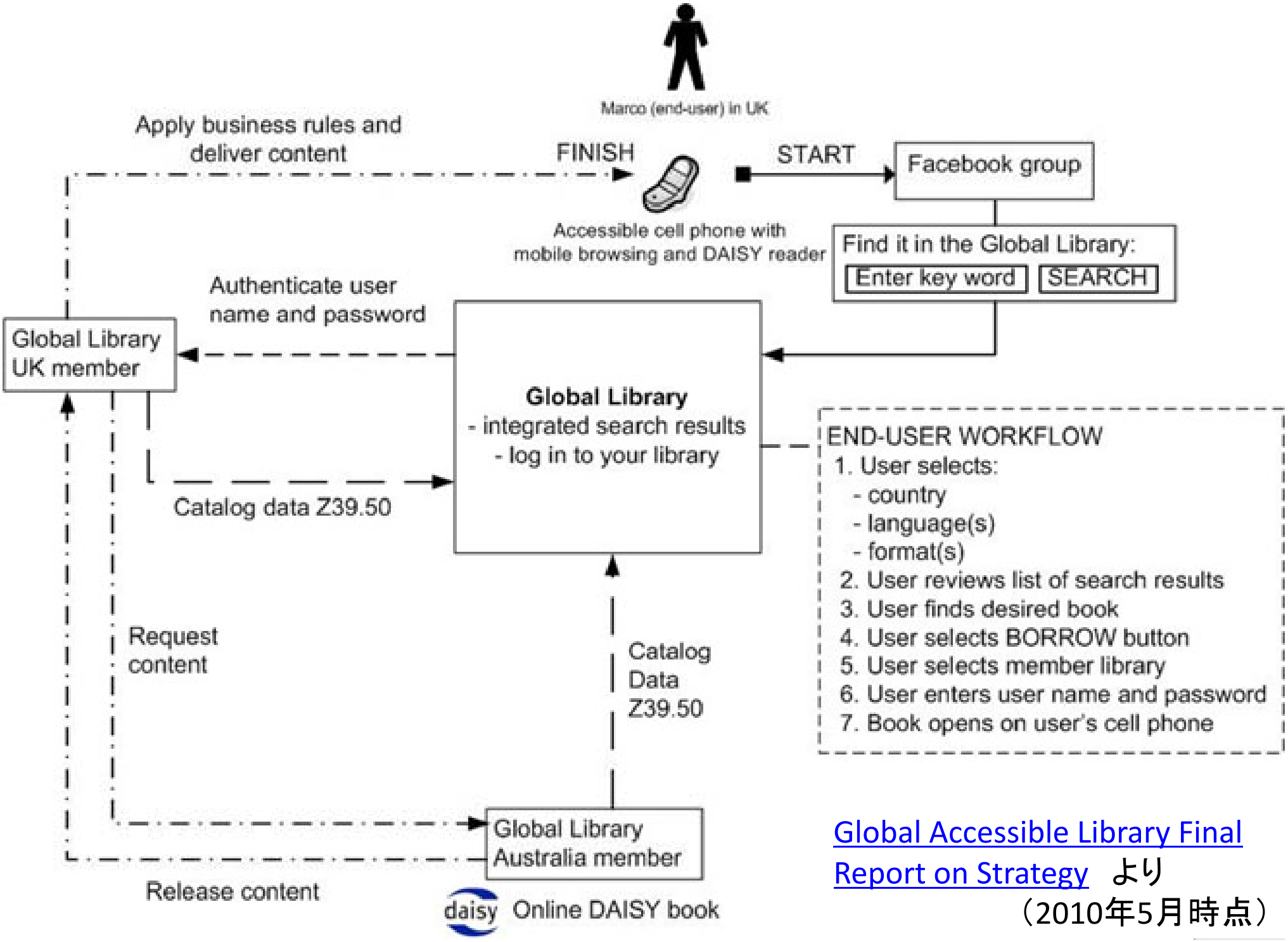
しかし・・・

- 課題はまだまだ
  - ボランティア頼み・種類・配布方法（野村）
  - 技術的な問題。縦書き、TTS、図画の取り扱い。
  - 「教科書用特定図書」の位置づけ、高校（宇野）



国際的な動き

- 障害者の権利条約（2006）
  - 日本も2007年に署名（批准はまだ）
- WIPO（など）
  - 条約の策定
  - TIGAR：
    WIPOのプロジェクト
    IFLA/LPD & DAISY Consortium
  - GPII
    Global Public Inclusive Infrastructure



Global Accessible Library Final Report on Strategy より
（2010年5月時点）

まとめ

各レイヤーで”One Souce, Multi Use”の実現

コンテンツ（DAISY）

＋

インフラ（TIGAR, GPII)

||

ユニバーサルデザイン？

踏まえたうえで。

- One Source, Multi Useと図書館
  - 本当は図書館の十八番では？
    （例）ブックビジネス2.0　長尾構想
- 個人的な感想：一歩先の未来
  - サピエ＝最先端の電子図書館
  - 制限規定→フェアユースの突破口？
    一歩先の未来であり、学ぶべきことはたくさん。

なのに、みんなに知られてないよね。

- 障害者サービスは特殊な、+αなサービス？
  - Not「特権」but「合理的な配慮」
  - 「少数」へのサービス？
    - 「多文化サービス」と「障害者サービス」
    - 一時的、恒久的、老化による障害
- 自分の話。後で後悔はしたくないなぁ。
  - 進む視力低下。祖父。

でも。

後ろめたさを抱えつつ、焦燥感を抱きつつ。

「何すればいいん？」

というわけで

- 自分でわからないなら、聞いてみよう。
- 個人として、図書館職員として。
- どんなこと考えていますか？

ありがとうございました。

ここに夜光龍の画像があったのです。
下のURLから見られますよ。

E-mail： yaskohi@hotmail.com

Twitter：yaskohi

http://aruphoto.exblog.jp/10231295/